

# 川崎医療生協

## 8月号



川崎医療生協の現状	
—(6月末)—	
組合員	43,468人
出資金	1,505,079,500円
川崎医療生協では一世帯5万円以上の出資金をめざしています。	

発行所 川崎医療生活協同組合 〒210-0804川崎市川崎区藤崎4-21-2 発行責任者 木下 隆成  
定価1部10円千60円(購読代金は出資金に含まれています) TEL.044(270)5881

**今月号の紙面**

- ◆やさしい医学の歴史
- ◆戻って来ました **2**
- ◆労働相談事件簿 **3**
- ◆組合員の広場 **4 5**
- ◆わが街かわさきヒストリー(最終回) **6**
- ◆読者の広場・パズル **7**
- ◆伝えたい思い **8**

# フレイル予防は「動く」「食べる」「つながる」

## —川崎医療生協「健康づくりセミナー」でスタート—



川崎医療生協(桑島政臣理事長)の健康づくり委員会主催で「2018年度第1回健康づくりセミナー」が6月29日に川崎医療生協本部会議室で開催し79人が参加しました。今年度は「フレイル」をテーマに年間3回のセミナーを予定しています。初回のこの日は「フレイルの入り口はお口から」と、オーラル・フレイルの予防に焦点をあて、生協歯科クリニックの松永哲医師と川崎協同病院の佐藤三扇子管理栄養士がポイントを話しました。

フレイルとは、日本語で「虚弱」という意味で、健康な状態と介護状態になる前の状態のことを言います。健康でいられる間の年齢を「健康寿命」といいますが、超高齢社会の今、平均寿命と健康寿命の差を見ると、男性は9年、女性は12・4年です。この差を縮めること、健康寿命を延ば

口の中の状態が悪いと噛めなくなり、柔らかいものはかり食べ、食欲も低下し咀嚼機能が低下し、さらに噛めなくなると悪循環に陥ります。そうならないために、友達と楽しく会話できる会話力や口の定期的な検診が大切です。

歯を失う原因には「虫歯」と「歯周病」があります。虫歯になりやすい箇所は若い人と高齢者では違いがあります。若い人は歯と歯の間に隙が大きいですが、高齢者は、加齢に伴い歯茎がさがり、歯茎で守られていたところが虫歯になりやすいといわれます。

**タンパク質をとる**

食べるため・飲み込むための筋肉も大切です。これを鍛えるためには「あいうべ体操」、「嚥下おでこ体操」、「ロングピロピロ」が有効です。

食事の内容としては、栄養をバランスよくとることがフレイル予防につながります。特にたんぱく質を1日に2回食べるのをおすすめします。「しっかり食べて美しく筋肉維持を」と佐藤管理栄養士は話します。

**第2回 健康づくりセミナーのご案内**

日時 9月28日(金) 14時~16時

場所 協同ふじさきクリニック 4階 会議室

テーマ フレイル予防のための社会参加と運動

参加費 無料

※事前に申し込みが必要です  
問い合わせは組織部まで  
☎044-266-7532

「料理するのに手間がかかって」という人には、缶詰を常備しておき、ツナ缶を卵とじやサラダに入れてみたり、鯖缶を大根と一緒にみそ煮するという方法もあります。すぐに食べられるものとして、温泉卵、だし巻き卵、豆腐、納豆、ヨーグルト、チーズも常備しておくとう便利です。

**あいうべ体操**

「あ・い・う・べ」を1セットで1日30回を目安に

**ロングピロピロ**

**嚥下おでこ体操**

5秒キープ

喉仏の辺りに力が入っていることを意識します

編集委員 宮澤明

**青い空**

待望の米朝会談が開催され、共同声明が出されました。北の脅威に対抗するため、軍事力増強を推進していた勢力は当てが外れたのではないのでしょうか▼国連で核兵器禁止条約が採択されました。日本政府は世界で唯一の被爆国でありながら、条約そのものをボイコットし、条約そのものに反対の態度をとっています▼国内から、平和に逆行する日本政府に対して、厳しい声が寄せられています▼川崎市は1982年政令指定都市に先がけて「核兵器禁止平和都市宣言」を行い、2018年6月には被爆者国際署名に川崎市長が署名しました。宮前区では2018年7月に多くの市民が共感し第7回目の原爆展が開催されました。原水禁大会、平和行進など国民の運動が粘り強くなりまわっています。こうした力が非核化への力になっていると思えます▼このような努力を嘲笑するかのようなきがかりがあります。国内外で原発の推進などまったく許せません。北の脅威がなくなつた今、日本から、沖縄から基地撤去、辺野古埋め立て停止、安保条約は廃棄と平和への転換を求めたいと思います。

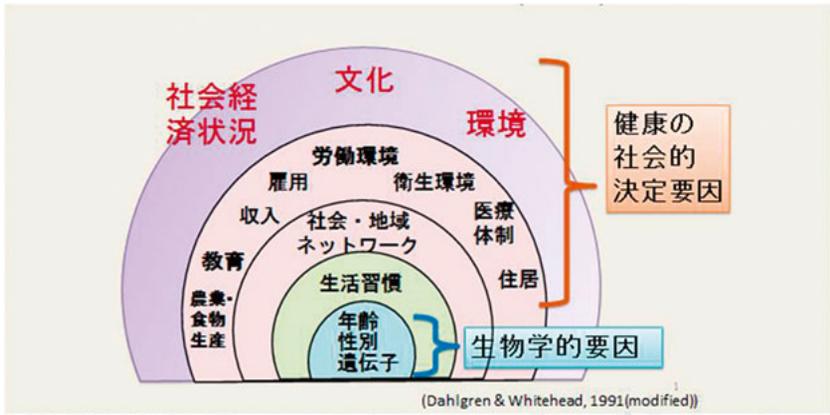
# 健康・医療

## 川崎医療生協に戻って来ました 家庭医として地域のSDHを探る



川崎セツルメント診療所  
所長 西村 真紀

### 健康の社会的決定要因 SDH(social determinants of health)



出典: Dahlgren/Whitehead: European strategies for tackling social inequities in health - levelling up part 2, WHO report, 2006

**健康格差の原因は**  
長年、東京と神奈川で家庭医をしていましたが、この2年はふるさと高知のへき地で家庭医をしながら医学生に家庭医を教えるという経験が私に医師になった理由になりました。

3年前まであさお診療所(麻生区)で働き、その後2年間は高知大学で教員をしていました。今年の6月に川崎セツルメント診療所(幸区)所長として新たなスタートを切りました。

健康や病気には社会的な原因が関係しています。地域の自然環境、風習や生活習慣、病院から遠いなどの地理的条件、所得や仕事、教育、国籍、衛生、文化、ジェンダー(社会的な性)などさまざまな社会的なことが健康に影響することがわかってきます。これを「健康の社会的決定要因: social determinant of health(SDH)」と言います。SDHが健康格差をまね

原点である高知のへき地で働いてみて気づいたこと、それは場所が変わっても私がかかわり続けてきたものは同じだということです。健康格差を引き起こしている原因は個人ではなく社会や環境であるということです。

SDHの一つである所得では「所得が低いと寿命が短い」という事実があります。たとえばSDHの「子ども」の時貧困だと将来うつ病になりやすくなるというデータがあります。また「友達や知人がいないと死にやすい」という事実もあるように、孤立は健康格差を生みます。逆に言うと、人とのつながり、仲間がいる方が健康で死亡率が低いというデータが多く出ています。このような地域とのつながりは「ソーシャルキャピタル」と呼ばれてSDHの一つです。

ひとり一人の住民に対して、私たちが取り組むことのできる身近なSDHは、このソーシャルキャピタルです。地域で一人暮らしの人とつながることやボラン

### シリーズ やさしい「医学の歴史」74

明治から大正の医師たち④

## 高峰 讓吉

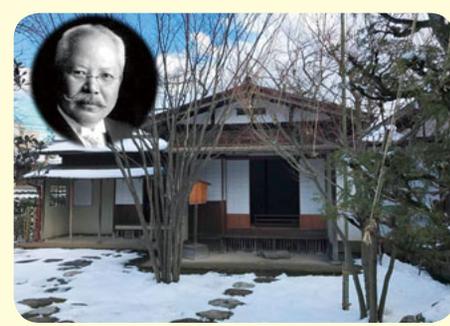
1854-1922 科学者・実業家・国際人

川崎医療生協 桑島 政臣  
理事長・医師



昨年2月に地域の医師会の先生方と金沢に行ってきました。懇親目的の一泊旅行でしたが、自由時間を利用して金沢城近くの黒門前緑地を訪ねました。ここには高峰讓吉ゆかりの家屋が移設保存されていました。そこにあった看板には以下のように書かれていました。「高峰讓吉博士は、医学・薬学に多大な業績を残した科学者であり、国際人です。加賀藩のご典医・高峰元種(長男)として江戸末期に生まれ、大正時代に亡くなるまで、消化薬・タカジアスターゼの創製や副腎ホルモン・アドレナリンの結晶抽出など世界の医学・薬学に多大な貢献をしました。父親から西洋医学を学ぶことを勧められ、長崎に留学し、後に大阪の緒方洪庵が主宰する適塾で学び、16歳で大阪医科大学に入学。その後大阪密蔵学校、工部大学校(後の東京大学工学部)の応用化学を卒業し、イギリスのグラスゴー大学に3年間留学しています。第一三共製薬として発展しています。」

父親から西洋医学を学ぶことを勧められ、長崎に留学し、後に大阪の緒方洪庵が主宰する適塾で学び、16歳で大阪医科大学に入学。その後大阪密蔵学校、工部大学校(後の東京大学工学部)の応用化学を卒業し、イギリスのグラスゴー大学に3年間留学しています。第一三共製薬として発展しています。



旧高峰邸(金沢市) 筆者撮影

**歯科衛生士 歯科助手** (非常勤)  
やさしくていねいに指導します  
\*未経験OK 募集

◇健康保険等完備 ◇交通費支給  
◇就労時間相談可 ◇保育所完備

時給 歯科助手: 975円、DH: 1400円~  
(業務) 受付、診療補助、器材洗浄等  
生協歯科クリニック 採用担当: 阿部  
所在地: 川崎市川崎区桜本2-1-22  
連絡先: 044-277-4618  
メール: seikyoshika@kawaikyoo.or.jp

**気づいたら私たちに**  
私は、医学生にSDHを題材に家庭医療の重要性ややりがい伝えてきまし

ティアがこれにあたります。例えば「子ども食堂は、食事提供だけでなく勉強面で支えたり仲間づくりをしたりして、子供たちに将来の生きる力を育てています。」

た。これからは医療の現場で組合員さんと手を結び地域のSDHを探り、それぞれの立場でできることを考え、共に豊かな地域医療を進めていきたいと思っています。みなさんも地域で健康を脅かすことにならぬように、気づいたら私たちにその声を届けてください。

**薬剤師さん大募集**  
〈常勤・パート〉  
新卒・既卒を問いません。病院研修および卒後研修も充実しています。お知り合いの方の紹介も歓迎いたします。奨学生も募集中!

川崎薬局 ☎299-4780 川崎協同病院横  
大師薬局 ☎266-5759 大師診療所前  
川崎コスモス薬局 ☎355-6395 京町診療所となり

そよかぜ薬局 ☎533-1223 川崎セツルメント診療所前  
くじら薬局 ☎820-0331 久地診療所の近くくじらビル

川崎すみれ薬局 ☎287-7510

介護用品・レンタル  
2F かりん ☎287-7390

応募・問い合わせ先  
横浜市神奈川区鶴屋町3-35-1 第2米林ビル6F  
一般社団法人 メディホープかながわ  
担当 人事担当まで  
電話 045(624)8704  
FAX 045(624)8706  
Email kanagawa@medi-hope.or.jp  
URL http://www.medi-hope.or.jp

組合員さん、はたらくみんなの薬局 **メディホープかながわ**

# くらし・社会

## 労働相談事件簿

NPO法人ワーカーズネットかわさき

理事 浅岡 正夫

その5

組合のない職場の実態



## 第69回通常総代会開催

### —中長期計画を立て、目的を明確にして事業改善を—

川崎医療生協(桑島政臣理事長)で年に1度行われる「第69回通常総代会」が6月23日、川崎区のサンピアンかわさきホールで開催しました。総代会は、川崎医療生協の地域組合員を代表する総代が233人と、職員や地域の団体の代表から選ばれた総代17人、それに38人の理事で構成されています。

川崎医療生協(桑島政臣理事長)が提案され、すべて満場一致で承認されました。議案の提案では、木下隆成専務理事が2017年度を振り返り、組合員や事業所での新しい出会いやつながりがあったことを紹介。また、これから大きな取り組みとなる健康寿命を延ばすための「フレイル予防」のとりくみの提起や、遺伝でも生活習慣でもない健康悪化の要因「健康の社会的決定要因」について、川崎医療生協がどうとりくんでいくかの提案をしました。

今回の総代会では「2017年度事業活動報告承認の件」、「2018年度活動方針及び収支予算承認の件」、「役員報酬決定の件」、「役員選任の件」、「議案効力発生の件」の5つの議案が提案され、すべて満場一致で承認されました。議案の提案では、木下隆成専務理事が2017年度を振り返り、組合員や事業所での新しい出会いやつながりがあったことを紹介。また、これから大きな取り組みとなる健康寿命を延ばすための「フレイル予防」のとりくみの提起や、遺伝でも生活習慣でもない健康悪化の要因「健康の社会的決定要因」について、川崎医療生協がどうとりくんでいくかの提案をしました。

今回の総代会では「2017年度事業活動報告承認の件」、「2018年度活動方針及び収支予算承認の件」、「役員報酬決定の件」、「役員選任の件」、「議案効力発生の件」の5つの議案が提案され、すべて満場一致で承認されました。議案の提案では、木下隆成専務理事が2017年度を振り返り、組合員や事業所での新しい出会いやつながりがあったことを紹介。また、これから大きな取り組みとなる健康寿命を延ばすための「フレイル予防」のとりくみの提起や、遺伝でも生活習慣でもない健康悪化の要因「健康の社会的決定要因」について、川崎医療生協がどうとりくんでいくかの提案をしました。



会場で採択をする総代

この後、以下のようなさまざまな報告が、総代や常務理事などから行われました。

鈴木忠能総代から「坂戸診療所のトイレのリニューアルの要望」。吉田慶子総代から「渡田支部の支部ニュース作りと配付や配付者の集い、班活動」。井手敏明総代から「宿河原支部の安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名のとりくみ」。瀧沢由紀子総代から「京町支部の年間活動行事と地域とのつながり報告」。伊藤勇総代から「理事會事業所利用委員会の活動についての報告」。浜野百美子総代から「中原区上平間にある、ふれあいルームの活動報告」。後藤まさみ総代から「国の羽田空港新飛行ルート計画の説明と計画撤回を求める署名のお願い」。藤田みち総代から「川崎協同病院の医療型特定短期入所の報告」。原常務理事から「9月開催予定の全日本民医連第14回共同組織活動交流集会in神奈川の成功に向けて」。阿部ひとみ総代から「生協歯科クリニックのとりくみ」。池田直也総代から「介護老人保健施設 樹の丘のとりくみ報告」。

田中久善常務理事から「医師養成の今日的な重要課題の報告」。小林博理事から「京町診療所 シヤトルバス運行開始から5年を経過して」。

役員選任では6人の理事が退任され、新任6人の理事が選任されました。

今回の事例は2件とも川崎市内の事業所に関する問題です。1件は従業員が10人未満の電子部品製造会社で働く74歳男性Aさんと、残業代未払いと解雇相談です。もう1件はパートを中心とする従業員30人の食品加工販売会社で働く49歳女性Bさんの残業代未払いと雇用保険未加入の相談でした。

二人が働く会社は業種は違いますが①小規模の有限会社、②経営者は親族のみ、③労使交渉の経緯がないという共通点があります。ワーカーズネットJMITU労組は、会社に団体交渉を申し入れました。同労組は、日本金属製造情報通信労働組合とい、自動車などの金属関連、コンピュータ、ソフトなど情報機器関連産業で働く仲間を中心につくっている全国組織の労働組合です。職場に労働組合がなくとも、一人でも加入できます。

### 100万円を超える未払い残業代

会社と合意した協定書によれば、会社が二人に支払った過去2年間の未払い残業代は、男性が約114万円、女性が約115万円でした。男性の場合、残業代の割増賃金計算式に算入すべき「手当」を所定内賃金から除外して基本給だけで計算し、おまけに、労働時間は実際の所定労働時間とかけ離れた月184時間(週40時間制に違反)で計算していたため、1時間あたり644円の未払差額が発生していました。

一方、女性は1時間1100円の時間給で、1日8時間を超えても割増がつかず1100円のままでした。違う部署で働く男性には信じられないかもしれま

せんが実際にあった話です。男性は年次有給休暇を取ったことがないと訴え、女性は「雇用保険に入ってくれ」と会社に訴えていましたが未加入でした。男性の解雇は撤回して1年の雇用延長となり、女性の雇用保険資格は過去にさかのぼって取得することで会社と合意しました。今後、会社は他の従業員を含めて労基法を守ると約束しました。

ご相談のある方は  
こちらまで

川崎労連  
労働相談センター  
☎044-211-5164



## 作ってみよう 減塩料理 「サラダうどん」

すこしお 第6回

健康づくり委員会  
管理栄養士

佐藤 弓扇子



### 【材料3人分】

- 乾燥うどん 240g
  - トマト 1個 (100g)
  - カットワカメ 少量
  - ごまだれ
    - 練ゴマ(白) 大さじ3
    - しょうゆ 大さじ1
    - ・キュウリ 1本 (50g)
    - ・青しそ 10~15枚
    - ・酢 大さじ2
    - ・砂糖 小さじ2
- (好みで、コショウやラー油を加えてもよい)  
※塩分量 塩分1人当たり1.7g 約300kcal

### 【作り方】

- ごまだれは、すべての材料をよく混ぜる
- 乾燥うどんは、好みのかたさに茹でてザルにあげ、水洗いしておく
- キュウリと青しそは、せん切りにしておく。トマトは食べやすい大きさに薄切りにする。カットワカメは水で戻してよく水気をきっておく
- 皿にうどんと③の野菜を盛り付ける。食べるときに、ごまだれをまわしかける。

### ♥一口メモ

そうめんやうどんには塩分が含まれています。茹でることで減りますが、一定量は残っています。つけダレを使用すると麺自体の塩分は感じにくいかもしれませんが、摂取量を把握しながらおいしく食べましょう

(乾燥) そうめん	50g	→ゆでると165g	(塩分0.5g)	約200kcal
(乾燥) うどん	80g	→ゆでると250g	(塩分0.8g)	約230kcal
(乾燥) そば	80g	→ゆでると250g	(塩分 0g)	約270kcal

# 組合員の広場

## 福祉まつりに参加 子連れの人たちも

6月3日幸区下平間 春風公園で行われた、福祉クラブ生協が主催する福祉まつりに、川崎医療生協の新川崎支部と古向支部が参加しました。晴天に恵まれ、色々な模擬店も出て、生協組合員、福祉クラブ生協が運営する介護施設「デイかしまだ」の利用者が車いすで来たり、また近隣の子ども連れの人たちも大勢参加しにぎやかでした。

私たちは、血圧・体組成・足指力チェックを行いました。みなさん健康に対する関心が高く、50人がチェックを受け、川崎セトルメント診療所の矢島小智子看護師が結果



医療生協も健康チェックで参加



あたたかみのある看板

## 小石川後楽園に行きました

協同地域のさわやか健康づくり委員会主催の健康ハイキング、今回は水戸黄門ゆかりの名園、東京飯田橋の小石川後楽園です。6月12日は前日まで2日続いた台風も一過、最高の天気。JR川崎駅に集まった16人も笑顔です。

駅下車。その後、歩12分くらいで後楽園入口に到着です。

庭園ガイドにそって、江戸時代初期の水戸徳川家の広い回遊式山泉庭園を約60分かけて見学。花菖蒲が見ごろだったので、このベンチに陣をとり昼食タイムです。園内は一年中どこかで開花する植物があり、その多さにも感動しました。

庭園ガイドにそって、江戸時代初期の水戸徳川家の広い回遊式山泉庭園を約60分かけて見学。花菖蒲が見ごろだったので、このベンチに陣をとり昼食タイムです。園内は一年中どこかで開花する植物があり、その多さにも感動しました。

9時30分、藤田洋子理事が挨拶しコースの説明を行ったあとホームへ向かいました。東京駅で昼食を購入して、中央線に乗り水道橋で乗り換え、飯田橋



スズメの写真はめったに撮れないんだとか...

大島支部 森川 幸雄

## 美術館巡りで

の説明を行い、参加者に好評でした。

足指力で気づいたのは、外反母趾の人や足袋や下駄を履いたことのない世代の人に、足指が広がらない人が2、3人いたことです。足指の力は転倒防止に関係あります。しっかりと足指を動かすのが大切です。

幸中原健康づくり委員 園田重・長澤 昭子

南大師支部 あしたは班では、月1回美術館巡りをしています。5月の班会では横濱で開催された創作人形の「与勇輝展」を観に行きました。その時とても良いことがありました。入るまで行く、白い服を着た素敵な男性が立っていました。入場者は誰も気づかずゾロゾロと入って行きましたが私は人形作家の与勇輝さんと気づきました。小声で「先生」と言いました。与さんはニコリとして両手で私たちと握手してくれました。



与勇輝さんを囲んで

南大師支部 山本 逸子

## 短冊に願いを込めて七夕飾り

大師中央支部のおしゃべり喫茶班は、6月28日の班会で思い思いの願いを短冊に込めた、七夕飾りをしました。「安心して老後を暮らせますように」、「腰や肩の痛みがとれますように」、「毎朝元気で散歩に出掛けられますように」などです。

こんな短冊も見つけました「お父さんの病気が良くなりますように」。これは病気療養中のお父さんと思う岩見谷アイさんの短冊です。そして、こんな短冊も「夏バテせず秋を迎えられますように」。今年の夏はとにかく暑いです。秋の班



みんなの願いが叶いますように

組織部 小林 英次

## 配付者と組合員のつどいを開く

7月20日、渡田1丁目町内会館にて、渡田支部で「配付者と組合員のつどい」を開催しました。

つどいでは、毎回おいしいお弁当を楽しく食べてから、血圧、体組成、足指力のチェックを行い、最後に医療生協の職員によるミニ講座を行います。今回のミニ講座のテーマは「介護保険」です。講師は介護福祉事業部の長嶋理恵部長にお願いしました。

7月5日、京町診療所2階の組合員ルームで、川崎医療生協のみつわ会が行った「七夕夕飯会」に、川崎区で実施している出前講座「今日からできる介護予防」をたのみました。講師は歯科衛生士の太田晴美さん。食べる前に「お口の健康紙芝居」があり、「いただきます体操」を一緒に

## 出前講座を たのんで

7月5日、京町診療所2階の組合員ルームで、川崎医療生協のみつわ会が行った「七夕夕飯会」に、川崎区で実施している出前講座「今日からできる介護予防」をたのみました。講師は歯科衛生士の太田晴美さん。食べる前に「お口の健康紙芝居」があり、「いただきます体操」を一緒に

たのんで、みんなで今日の献立の冷やし中華と煮物、塩もみキヤベツ、スイカを食べました。たんぱく質もしっかり入って野菜も細く切っており、たっぷりありました。太田さんに褒められました。食後は太田さんによるプロジェクトを使っての「元気なお口でおいしくつまんでもー」の学習を30分くらいしました。介護保険は2000年から

## 院内巡視はじめました

生協の運営する事業所には、組合員が参加する「事業所利用委員会」が設置されています。

久地診療所でも毎月一回会議が開かれ、満足度アンケート、診療所周りの美化、映画会など患者さん、組合員さんが少しでも利用しやすいようにと様々な活動をおこなっています。この事業所利用委員会の大切な役割のひとつに事業所内を回り、整理整頓・危険箇所・患者さんのプライバシーなどを点検する院内巡視というものがありません。久地診療所利用委員会では、今年度から他の事業所にならいうりくむことにしました。

また第一回が終わったばかりですが、今後はチェック



利用しやすい事業所に

組織部 高岡 哲史



介護予防の話をきいて

ら始まり、2006年から介護予防の体操などがじまりました。

みつわ会 今井 幸子

渡田支部 來住 律子





# 読者の広場

## お知恵拝借!

多摩区 鈴木博子(65)

最近ペットボトルのふたを開けるのが辛くなってきました。何か良い方法は無いものでしょうか。みなさまの知恵をお借りしたいです。

## 毎日の楽しみ

多摩区 藤田智恵子(71)

今年はベランダ菜園に挑戦しました。ミニトマトとオクラとヘチマ(グリーンカーテン用)。

毎日大きくなるので見るだけでも楽しみです。もちろん収穫も期待しています。

## しそジュース

川崎区 塚本勢登子(53)

今年は新生姜漬け、梅シロップ、しそジュースを作ります。食べ物からも季節を感じられますね。ミニトマトも育てています。

## 叔母が百歳に

川崎区 福士由美子

東京の叔母がなんと百歳で、

## あさはか自民亭



# みんなだ川柳



ゆずられて 素直にうれしい 優先席  
 長野産 作るあなたは 長野さん  
 幼児の 明るい笑顔 宝物  
 年寄りも 思っていない 派手な服  
 長かった 嫁をそつぎよう 花をかう  
 膿を出す 誰を出すの と 妻に聞き  
 愛犬を 叱ったつもりが 夫の名



## 編集部より

嫁をそつぎよう、嬉しかったんでしょね。

麻生区 木ノ内せつ子(74)  
 中原区 金井昭平(29)  
 幸区 加藤かつ子  
 川崎区 山崎多美(87)  
 川崎区 原ふみえ(74)  
 川崎区 小林郁夫(64)  
 編集者

歳一になりました。大田区からのお祝いは何だろうと思っていたら、7万円だったそうです。近年は長生きですから区も大変なのかな。川崎は何だろう?がんばるぞ!

## 物忘れに呆れています

川崎区 吉村啓子(79)

最近の物忘れに我ながら呆れています。テレビを見ればタレントさんの名前が出てこず、買い物メモを書いても持参するのを忘れ、必ず数点買い忘れて帰宅します。先が思いやられております。

## 無事でありますように

川崎区 石川隆子(84)

この頃一人、また一人と知人が亡くなり、話をする人がいないのは本当に切ない。

## 伝えていかなければ

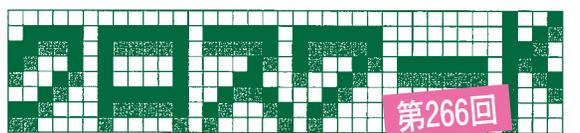
川崎区 黒坂春子(67)

朝起きて今日も一日無事でありますようにと言つて身支度します。昔は夏を感じる頃になる

## 新聞届けてます!

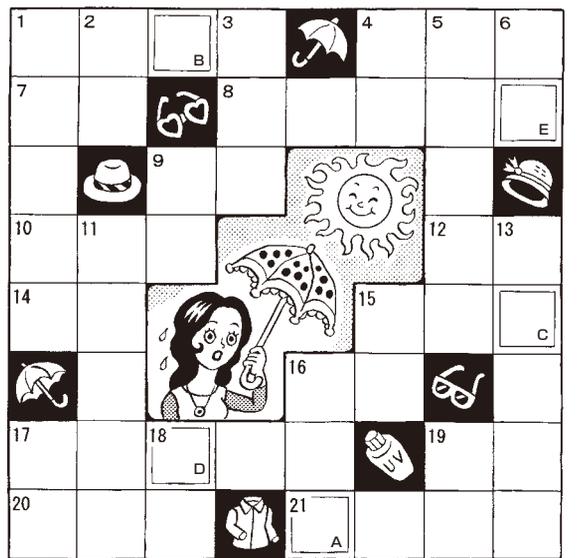
中原区 大塚ミネ(67)

毎月楽しみに読ませてもらっています。よたよたと10人に届けています。



第266回

【解き方】イラストをヒントにして、二重ワクの5文字をうまく並べてできる言葉は?



メールでの送付先 s.shirovani@kawaiiko.or.jp

## 目玉のカギ

- ① 子どもに人気の昆虫
- ④ 「桃太郎」という品種も
- ⑦ 夏の浜辺。太陽と熱い○○
- ⑧ 高校球児の聖地
- ⑨ 地下茎はレンコン
- ⑩ 銀行が違法にお金を

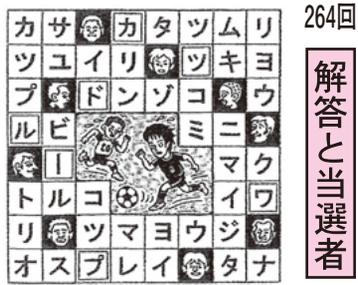


- ⑫ 「羊歯」って読めませぬ。不正○○○。
- ⑭ 残念ながら最下位です
- ⑮ 佐渡島観光の定番。○○○舟
- ⑯ 今年8月7日から「その他いろいろ」です
- ⑰ 金がありません。○

## タテのカギ

- ① 英語ではリングフィング
- ② 人を陥れる策略のこと
- ③ メキシコを代表する
- ④ 世界遺産・厳島神社のある宮島のお土産
- ⑤ 佐渡島観光の定番。○○○舟
- ⑥ 今年8月7日から「その他いろいろ」です
- ⑦ 金がありません。○
- ⑧ 今年8月7日から「その他いろいろ」です
- ⑨ 金がありません。○
- ⑩ 銀行が違法にお金を
- ⑪ 買言葉で応酬します
- ⑫ 「羊歯」って読めませぬ。不正○○○。
- ⑬ 京都の五山送り火は「○○○○○焼き」ともいわれます
- ⑭ 華厳、袋田、那智といえは
- ⑮ 大野、桜井、相葉、二宮、松本さんがメンバーです
- ⑯ 環境保全の○○マー
- ⑰ ○○載一週、○○客
- ⑱ 万来
- ⑲ 昨年度の収穫量ベスト3は山梨県、福島県、長野県

料理



答え「ワールドカップ」

## 解答と当選者

- 6月号の答えは「ワールドカップ」でした。
- 応募者は195人(正解は190人)。編集委員会が抽選の結果、左記の方々に図書カードをお送りしました。
- 高嶋明代 (川崎区)
- 荒 和子 (川崎区)
- 瀧沢由紀子(川崎区)
- 新井登美子(川崎区)
- 石井 登 (川崎区)
- 高橋君江 (川崎区)
- 脇本敏江 (川崎区)
- 比喜美恵子(川崎区)
- 佐山良子 (川崎区)
- 宮原範子 (川崎区)

- 草野みつ子(川崎区)
- 大日方恵美子(幸区)
- 須山 孝 (中原区)
- 青山日出子(中原区)
- 蓑田美貴子(高津区)
- 鈴木典善 (高津区)
- 山森君子 (宮前区)

## 応募要項

パズルの答えは、ハガキで左記までお送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号とよろしければ年齢を記入して下さい。メールでの応募もお待ちしています。送付先のアドレスは解答枠の下をご覧ください。医療生協新聞への感想や近況を余白に記入していただ

メールで応募の方も住所とお名前をお忘れなく。



【送り先】  
 〒210-0804  
 川崎区藤崎4-21-2  
 川崎医療生協本部  
 編集委員会

クロスワードパズルの余白に書かれた「内容」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください

# 平和の広場

## 今年も平和の声を

# ピースフェスティバル開催

主催：神奈川県民主医療機関連合会

7月21日の土曜日、JR鶴見駅北側にある鶴見公会堂にて、神奈川県医連ピースフェスティバルが開催されました。毎年多くの参加者で盛り上がるピースフェスティバルですが、連日の猛暑で外出を控える人が多い中、今年も約400人の参加で大盛況でした。

初めに、ピースフェスティバル最大の人気企画、神奈川県医連職員の平和学校卒業生による「卒業記念発表」です。毎年、半年以上かけて日本の平和問題や沖縄での現地学習などを行い、それぞれの職場で医連らしい平和活動を担う職員を



広島へ行く代表メンバー

育てる平和学校。その卒業生が企画したのは、「島唄 (THE BOOM)」と「It's a Small World」を歌って踊る事でした。「島唄」は

太平洋戦争で唯一地上戦が行われた沖縄の悲しい歴史に思いを寄せて作詞作曲された歌、「It's a Small World」は、小さな世界で人種や文化の隔たりを超え寄り添って生きていこうという歌詞です。この思いを楽しく歌い踊って、会場が一体となりました。

記念講演には、憲法の理念や個人の尊重を訴え、安倍内閣と自民党が企てる改憲の危険性について全国で講演している、弁護士伊藤真さんをお迎えしました。伊藤さんは、丁寧にわかりやすく、日本の憲法の魅力や世界的な価値につい



平和学校の卒業生たちが「島唄」を唄う

て、力強く話しました。国民が個人として尊重され、国家のためにその尊厳が奪われるようなことがあつてはならないと、繰り返し訴えました。また、憲法9条の加憲案についても、「後から付け加えられた条文の方が、効力が強くなる」「平和憲法が空文化されてしまおう」と大変危機感をもって説明しました。

今年も広島で開催される「原水爆禁止世界大会」へ参加される神奈川県医連の代表たちが紹介されました。川崎医療生協からは15人の組合員と職員が参加します。「今年是一段と暑さが厳しくなりそうだが、元気にいって参ります」と参加者から発言がありました。

7月16日、中原区の中原公園野外音楽堂で「第36回 みんなでつくろう 平和公園コンサート2018」(川崎平和公園コンサート実行委員会主催)が開かれました。午後5時から始まったコンサートは21組の出演者が歌や演奏を披露しました。法政第二中高の合唱部や、毎年エポックなかはらで単独公演をしている合唱団いちばん星まで、幅広い年代の出演者がそろいました。

中原平和公園は、戦後、米軍の出版センターとして接収されていた土地が1975年に全面返還されたのを機に、隣接する木月住吉公園と中原公園を統合し、現在の公園に

今年で36回目  
平和コンサート開催

7月16日、中原区の中原公園野外音楽堂で「第36回 みんなでつくろう 平和公園コンサート2018」(川崎平和公園コンサート実行委員会主催)が開かれました。午後5時から始まったコンサートは21組の出演者が歌や演奏を披露しました。法政第二中高の合唱部や、毎年エポックなかはらで単独公演をしている合唱団いちばん星まで、幅広い年代の出演者がそろいました。

中原平和公園は、戦後、米軍の出版センターとして接収されていた土地が1975年に全面返還されたのを機に、隣接する木月住吉公園と中原公園を統合し、現在の公園に

今年で36回目  
平和コンサート開催

7月16日、中原区の中原公園野外音楽堂で「第36回 みんなでつくろう 平和公園コンサート2018」(川崎平和公園コンサート実行委員会主催)が開かれました。午後5時から始まったコンサートは21組の出演者が歌や演奏を披露しました。法政第二中高の合唱部や、毎年エポックなかはらで単独公演をしている合唱団いちばん星まで、幅広い年代の出演者がそろいました。

中原平和公園は、戦後、米軍の出版センターとして接収されていた土地が1975年に全面返還されたのを機に、隣接する木月住吉公園と中原公園を統合し、現在の公園に

私の戦争体験

## 伝えたい思い



多摩区 小林 光子さん (91) 女・子どもの戦争(下)

## 戦後食糧確保の戦い



昭和20年5月25日、山の手方面の空襲で、父母と中学2年の弟と目の白の家を焼け出され、父の仕事の關係で7月から川崎の元住吉の家に落ち着きました。

私は学徒動員で大宮の航空機工場に働いていました。終戦の天皇の声を工場の中庭に整列して聞きました。空襲警報で電車が止まっても、グラマの機銃掃射に追われても、家が焼けても出勤し

がばって来た揚げ句の敗戦で、一時は虚脱状態でした。しかしぼんやりしてはられない、食糧確保の戦いは待たないでした。

8月の終わりに、ガリガリの弟(長男)が海軍兵学校から帰ってきました。その後、母と私は祖母と小さい三女、三男を疎開先の白河市に迎えるに行きました。衣類を全部タライに入れて熱湯をかけてシラミ退治をして連れて帰りました。妹(次女)は長野県の上林温泉の集団疎開から、これもやせ細って帰り、終戦時4人だったのが誰も死なずに元の9人家族に戻りました。

戦争中から庭と家の周りはカボチャだらけでした。私たちは武蔵小杉のグラウンドの一角と、井田山に畑を借り、小杉の方はじゃがいもなど野菜を作り、井田山には直々行けないので、さつまいもや麦、粟(あわ)などを作りました。肥桶とリヤカーを借りて、我が家の下肥を汲んで井田山へ運ぶのが、上り坂で一番大変でした。途中に馬糞でも落ちてると「今日は幸先がいい」と喜んで拾ったりしました。

### 昭和20年は不作、餓死者も

お米の配給が少ないので、カボチャや大根葉を干した「干葉」を入れた雑炊が主食でした。干葉は日向(ひなた)臭く、まずく、カボチャも水っぽくて甘くありませんでした。60年後に弟(次男)と雑談した時に「オレは今でもイモとカボチャは嫌いだ」と言っていました。

買い出しには、母と橋本や淵野辺の方まで何回か行きましたが、焼け出されて交換する着物もないので成果は少なく難儀しました。

昭和20年は気候不順の上に、働き手が戦争や動員でとられ最高に不作でした。21年にかけての食糧難は深刻で餓死者も出ました。終戦時川崎市助役だった父は市長の公職追放に殉じて退職し、母も空襲で焼けて引越した後教師を辞めていたの

で、我が家の非常時には両親共無職の時期がありました。22年から母が復職、私も就職して一息ついたと思います。

戦争中は「欲しがりません勝つまでは」で、建前だけでも一致し我慢していました。戦後、軍の隠匿物資の横流し、進駐軍物資の流出、闇市の横行など厭でも世の中の不条理を見聞きし、体験もしました。学校が再開してからは民主化運動をやったり、戦災者の収容所にボランティアに行ったり、日比谷公園で演説を聞いたり、戦後の大きな変化を肌で感じ行動を始めていました。21年の戦後初のメーデーに友人と参加、貴重な体験をしました。

## 川崎市平和館特別展

### 「未来に託す戦世の記憶」

川崎市中原平和公園の中にある川崎市平和館で、7月28日から9月2日まで沖縄の戦争に関する特別展を開催しています。主催は川崎市と沖縄県で、沖縄県平和祈念資料館の協力を得て資料やパネルを展示。戦争体験者の証言映像も放映します。



9時から17時まで、毎週月曜日と第3火曜日は休館日。ただし、8月6日は開館。場所はJR武蔵小杉から徒歩10分。東急東横線元住吉駅から徒歩10分。入場料は無料、問い合わせは川崎市平和館 (044-433-0171) まで。

中原平和公園は、戦後、米軍の出版センターとして接収されていた土地が1975年に全面返還されたのを機に、隣接する木月住吉公園と中原公園を統合し、現在の公園に



法政第二中高の合唱部